これから健診・検査を受ける あなたにお伝えしたい

これも写るの？ レントゲン撮影

一般撮影（レントゲン）、CT、MRIといった検査の際に、患者さんの服装に注文の多い放射線ですが、今回は、健康診断など一番多い胸部レントゲンを例にあげて説明します。

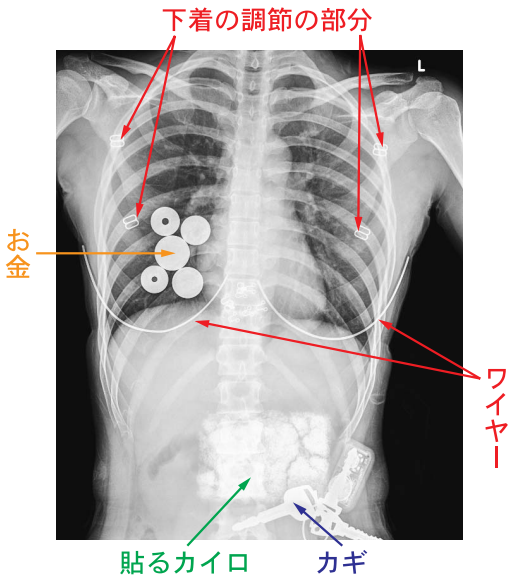
金属類（ネックレス、ボタン、カギ、下着のワイヤーやホック）は元より、プラスチック類（ボタン、下着の肩紐部分）や、貼るカイロ、湿布、エレキバン、洋服についているラメなど画像に写ると、再度撮影をお願いすることになります。このような写り込みは、診断の妨げになる可能性があるため、注意が必要です。

ちなみに、当院の胸部レントゲン再撮影で最も多いのが、「下着の調節部分」の写り込みです。

レントゲンを受ける際に、お聞きしますので、技師と一緒に確認をお願いします。

また、検査着に着替える手間を省きたい方は、金属やプラスチックのない下着や無地のTシャツといった衣服をひとつ用意されることをオススメします。

（放射線・MR科　甲元　芽依）



※今回は加工した画像を使用しています。

この人

昨年４月、水島歯科診療所から、連携室に異動してこられました。

今までは、どちらかというと裏方仕事だったようですが、連携室という裏のような表舞台で一緒に働いてくれています。

人前で話すことが得意なようで、患者サポートセンターの取り組みについて院内で発表した際も、明るくハキハキとした話術を披露し、今後の連携室は安泰だね～と各所よりお褒めの言葉をいただけたようです。

家では、ピアノが弾けたり、お花が好きだったり、お取り寄せしておいしいものを食べたり、休みの日にはお菓子作りに励んだりしているマダムです。

声も笑顔もすてき！

―人前で話すことが得意な連携室期待の人―

―医療連携・患者サポートセンター 副主任 西村（にしむら） 真弓（まゆみ）さん―

職場では、手際よく仕事をこなして、細やかな気配りのできる方ですが、たまにうっかりミスをすることがあり、お茶目な一面をみせてくれることもあります。

また、私生活では素敵な旦那様がおられ、西村さんが忘れ物をすると、仕事ついでに持ってきてもらっていたりと、うらやましい限りの、お互い優しさがあふれ出ている、ホッコリ温かい夫婦です。

連携室は電話での応対が多く、コロナ渦でマスクをしてのお仕事ですが、声も笑顔も素敵な西村さんです。

（医療連携・患者サポートセンター　安藤裕子）

虹の意見箱

みなさまから貴重な声をいただいています

〈謝辞〉

投函場所：外来棟２階

いつも利用者さんの受診で利用させて頂いています。

先生・ナース・スタッフの方々が、障がいの方に対しても偏見がなく、丁寧に対応していただき、ありがたく、毎回助かっています。

【お答え】

ありがとうございます。スタッフ一同、励みに患者さんの安心・安全な医療を提供できるように努めて参ります。

外来看護２科

〈ご意見〉

投函場所：病院３階

入院日、外来の受付に行ったら乳腺外来へ行くよう指示されたが乳腺外来へ行ったら入院受付へ行くよう指示された。重たい荷物を持って移動。しかも不安な気持ちも抱えている状況の中、最初の受付の人は入院受付へ行くようどうして行ってくれなかったのか？すごく腹が立ったし、時間もロスしたしものすごく嫌な思いした。

【お答え】

この度は、不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

今後、このような事がないよう、スタッフの指導・教育を徹底させて頂きます。外来医療事務１課

看護部のユニフォームをリニューアルしました！

人工透析室（左）と３階北病棟（右）それから４階北病棟（右上）の看護師に協力してもらいました！

この４月より、外来と病棟看護師のユニフォームを、写真のように新しくしました。リニューアルに伴い、対象となる看護師からアンケートを集め、多くの声で選ばれたものです。

ユニフォームは白を基調とした、男女あわせて6種類の、いずれも襟元に特徴あるデザインとなっています。男性看護師は襟元がネイビーとターコイズブルーのスクラブ、女性看護師はワンピースタイプや、花びらのような丸い襟と茶系の２つのボタンがフェミニンな印象のチュニックを選ぶ人もいます。ボトムスは男女ともに、白とネイビーの２色で、上下の組み合わせはそれぞれの好みで選んでいます。

病院にはさまざまな職種のスタッフがいますが、新しいユニフォームをまとった爽やかな看護師をぜひ見つけてください。

水島協同病院は差額ベッド料はいただいておりません